



ヤマシタコーポレーション東京東営業所で

〈出席者〉

公明党：古屋範子、高木美智代、矢倉克夫、佐々木さやか
ふくせん：岩元文雄、酒井博人、本村光節、金沢善智、
中川敬史、福田京子（各氏）

必要な用具、使い続けられるように

全国福祉用具専門相談員協会（岩元文雄理事長）は2月1日、都内で公明党の国会議員や地方議員らと、福祉用具サービスの現状や制度のあり方などについて、意見交換を行った。

福祉用具については、財務省から次期改正で要介護2までを原則自己負担とする提案がなされている。意見交換では、岩元理事長らが、財務省案の内容や軽度者への福祉用具の有効性、福祉用具専門相談員の役割、福祉用具を活用することで人材確保や社会保障給付抑制に寄与することなどを説明した。さらに要介護2で、実際に福祉用具を利用して在宅生活を送っている利用者の映像なども写し出された。出席した公明党厚生労働部会長の古屋範子氏は「福祉用具が適切に使い続けられるよう、努力していく」と約束した。